

平成27年度御前崎地区官民合同水難救助訓練

平成27年6月15日

- 日 付：平成27年6月30日（火）
- 時 間：午後1時30分～午後3時30分
- 場 所：御前崎港 マリンパーク御前崎
- 主 催：御前崎海上保安署
静岡地区水難救済会相良救難所・御前崎渚の交番救難所
- 協 力：静岡県菊川警察署
静岡県消防防災航空隊
御前崎市消防本部御前崎市消防署
御前崎市防災課・商工観光課・学校教育課
御前崎市立御前崎小学校
関東小型船安全協会御前崎マリクラブ
御前崎市観光協会
海上保安協会御前崎支部

スマイルプロジェクト関係参加者

S P 石原・植田浩・野口・増田洋・奥柿・大西・小野田・望月・福田・植田あ・永田

掛スポ 大橋、増田一、宮野

相良救難所 松下・秀丸操縦者 他数名

小安協 今福、下村裕

シーバード 山口、今西、山本、小林



6月30日 御前崎市関係機関が連携した、『官民合同水難救助訓練』がマリンパークで、夏季のマリンレジャーシーズンを目前に控え、水難事故の発生が懸念される場所、関係機関の皆様のご協力を受け、牧之原・御前崎地区水難救助訓練を実施させていただきました。



昨年につき、御観覧席を用意させて頂き、来賓の方々にお越しいただきました。



来賓にお越し頂いた方

御前崎市長 石原茂雄様

御前崎市議会議員 西島昌和様

御前崎市観光協会 下村裕様

教育長 篠田暁美様

国土交通省中部地方整備局御前崎港事務所長 村松佳春様

航空自衛隊御前崎分屯基地司令 松本哲周様

静岡県御前崎港管理事務所長 進藤弘之様

静岡県牧之原警察署長 浅野守様

静岡県菊川警察署長 井出登様

吉田町牧之原市広域施設組合本部消防長 赤松友明様

牧之原市相良消防本部消防長 富田幸雄様

御前崎市消防本部消防長 柳澤敏雄様

御前崎埠頭株式会社常務取締役 鈴木武彦様

鈴与株式会社取締役御前崎支店長 江川央夫様

御前崎港運株式会社常務取締役 河原崎恵士様

海上保安協会御前崎支部長 藪田国之様

御前崎小学校（6年生 50名）に協力していただき、水難事故安全教室を実施しました。
（海水浴場、岸壁事故・海浜事故遭遇時・津波避難訓練）



ライフジャケットの着用に苦戦していました。1回でもやっておく事が大事ですね。





◎溺者救助訓練 訓練時間約15分

【救助対応】

- ①御前崎救難所水上バイク出発、漂流者を救助し、砂浜に搬送する。
 - ②相良救難所水上バイク出発、漂流者を救助し、砂浜に搬送する。
 - ③消防水上バイクが出発、漂流者を救助し、砂浜に搬送する。
- ※パトカーは、付近警戒に当たる。

【訓練想定】

海水浴場で遊泳者が沖に流されているとの通報を受け、臨場した消防、水難救済会の上水バイクが救助に当たる。

【訓練本部】

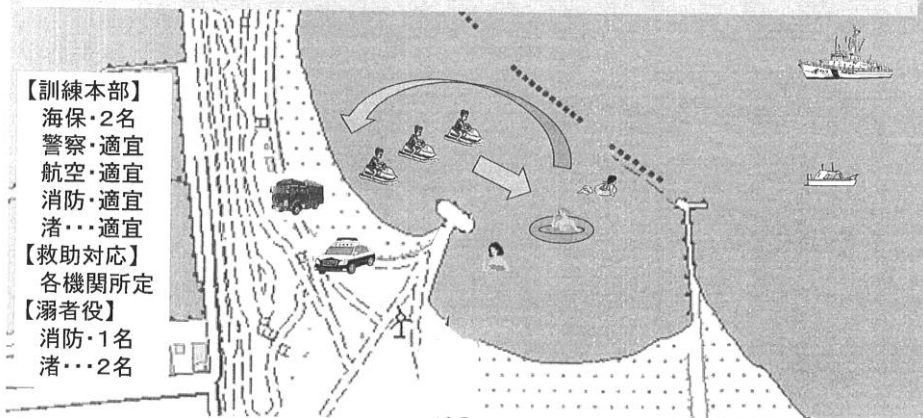
海保・2名
警察・適宜
航空・適宜
消防・適宜
渚・・・適宜

【救助対応】

各機関所定

【溺者役】

消防・1名
渚・・・2名



訓練① 溺者救助

PWCドライバー 増田洋・松下

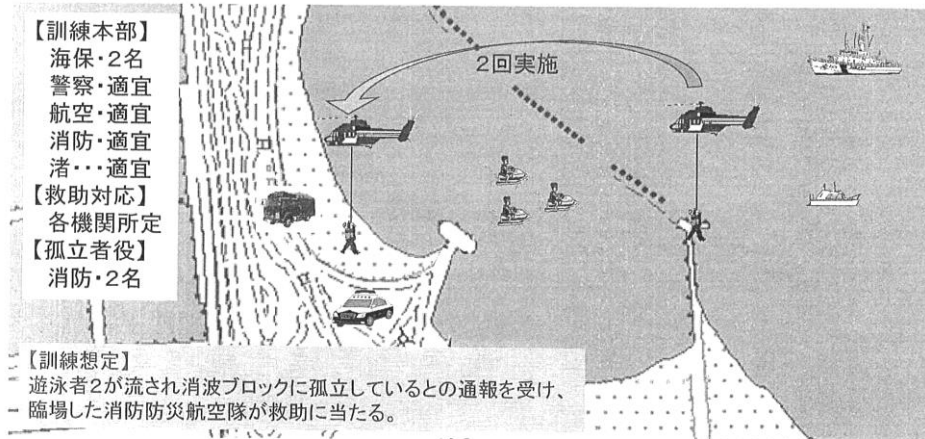
PWCレスキュー 奥柿・大西

溺者 大橋・増田一

◎孤立者助訓練 訓練時間約15分

【訓練想定】

- ①消防・相良救難所・渚の交番の水上バイクは、海上孤立者2名を発見。
 - ②オレンジアローは、消防からの無線連絡を受け、防波堤上空に進入開始。
 - ③吊上げ救助の上、砂浜に搬送し、待機中の消防隊に要救助者を引き渡し。
 - ④オレンジアローは、一時離脱し、次の訓練に移行。
- ※オレンジアローは吊上げ救助を2回実施。
※パトカーは、付近警戒に当たる。



訓練② 孤立者救助

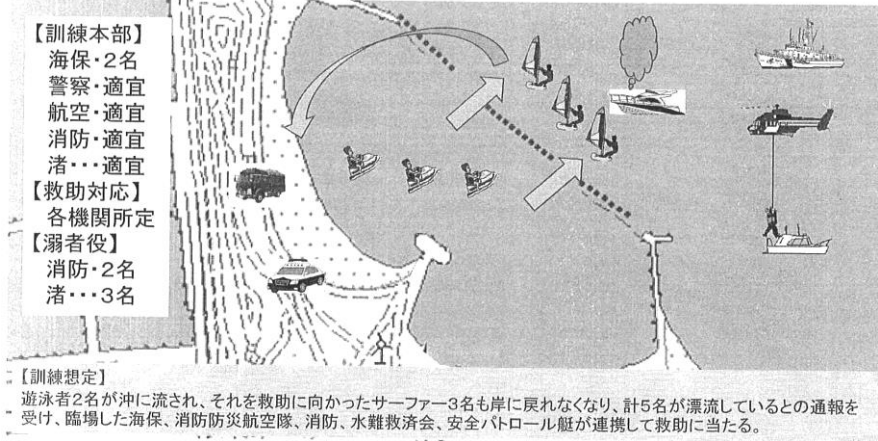
PWCドライバー 望月・松下

PWCレスキューアー 奥柿・増田

◎漂流サーファー救助訓練 訓練時間約15分

【救助対応】

- ①安全パトロール艇が漂流サーファーを発見、発炎筒を点火し、位置を周知する。
- ②消防・相良救難所・渚の交番の各水上バイクが出発、漂流サーファーの救助に向かい、砂浜に搬送する。
- ③オレンジアローは、海保ボートから要救助者を吊上げ搬送する。
- ④パトカーは付近警戒等に当たる。



訓練③ 漂流サーファー救助

PWCドライバー 望月・松下

PWCレスキュー 奥柿・増田洋

溺者 消防2名

ウィンドサーフィン 大西

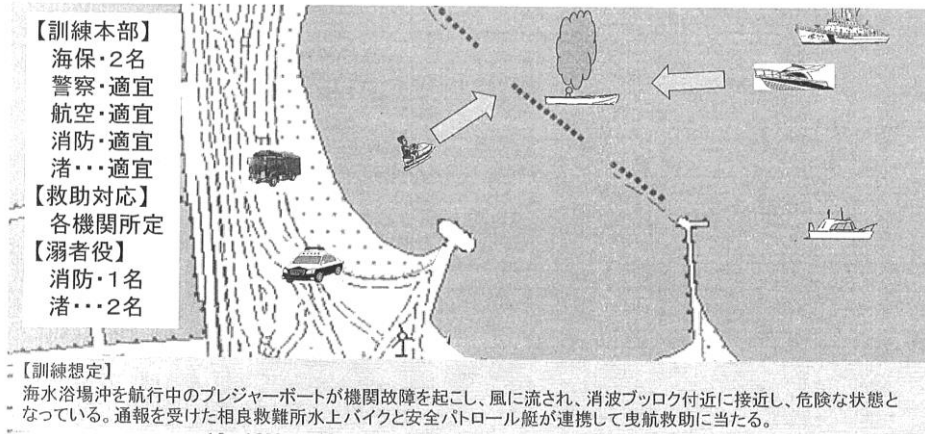
サーフィン 増田一・宮野

溺者運搬 小野田

◎曳航救助訓練 訓練時間約15分

【救助対応】

- ①発煙筒を点火し救助を求めている機関故障船を相良救難所水上バイク及び御前崎マリンクラブ安全パトロール艇が発見し、接近する。(水深に要注意)
- ②水深が浅いことから、水上バイクが機関故障船に接近し、曳航索を取り、安全パトロール艇に渡す。
- ③安全パトロール艇は、曳航索を取ったら、ゆっくりと曳航を開始し、後刻、現場到着した海保ボートに曳航索を引き渡す。



訓練④ 曳航訓練

PWCドライバー 松下

PWCレスキューアー 増田洋

展示訓練 海上保安庁ヘリコプターによる吊り上げ救助訓練



実際目の前にすると、音、風と迫力が凄く見応えがありました。



閉会式



本訓練に参加して頂いた各関係者の皆様、視察に来て下さいました皆様、お忙しいなか、ありがとうございました。頭でイメージしてる訓練は出来るだろうと考えてしまうところがあるが、実際は考えてる何十倍、何百倍も大変です。マリンスポーツが盛んな地域だからこそ事故時の素早い対応、事故を未然に防ぐ訓練に力を入れ、一人でも多くの命を救いたいと強く思いました。そして御前崎のレスキューがまずは日本のお手本と言われるよう、努めていきたいと思っておりますので、今後ともご協力を宜しくお願い致します。

御前崎 渚の交番救難所

